

# 船内見学

## 活動のねらい

- 船の構造や施設・設備を見学し、船への興味・関心を高める。
- 避難経路や危険箇所、立入禁止場所などを知ること、安全に過ごす態度を身につける。

【場所】「うみのこ」船内 1階～4階

【時間】1日目昼食時  
(昼食をとっていない児童が実施)

## 主な活動の流れ

### 《1階の見学》

◎ 宿泊室での注意を確かめ、洗面所、シャワー室、非常階段、便所などの施設・設備や避難経路を知る。

#### シャワー室

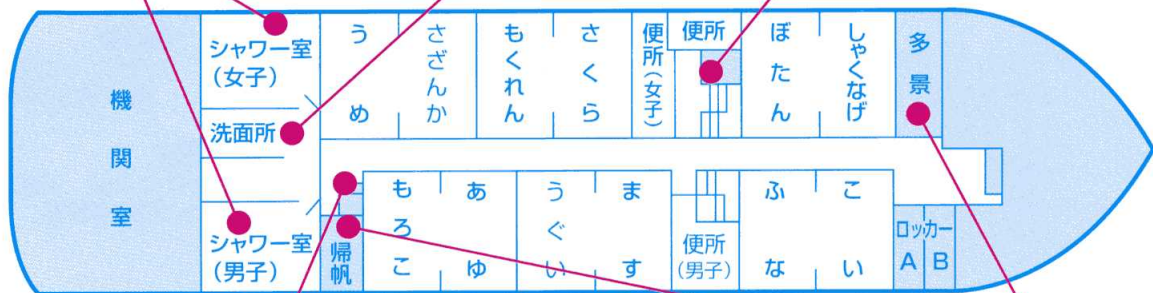
- ※ 男女各16個シャワーがある。
- ※ 節水と湯温調整について確認する。

#### 洗面所

- ※ 計32個
- ※ 食事前、外出後等の手洗い・うがいを励行する。
- ※ 節水について確認する。

#### エレベーター

- ※ 階段の昇り降りの難しい人が使うこと。使用する場合は必ず指導者と一緒であることを確認する。



#### 非常階段

- ※ 避難訓練時と実際の避難の時にだけ使用すること。普段は使わないことを確認する。

#### 活動室(宿泊室)

- ※ 走らない、ふざけない、棚に登らないなどの約束や整理整頓に心がけることを確認する。

#### 多景・帰帆

- ※ 教職員用宿泊室。就寝後必要があればこの部屋の先生に連絡するよう伝える。

### 《2階の見学》

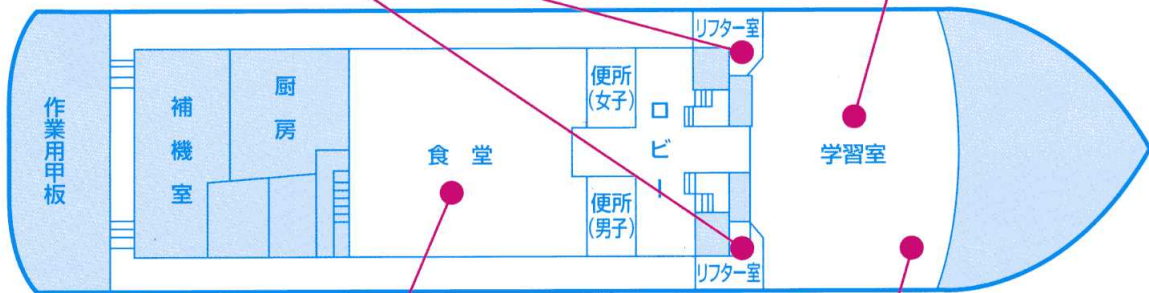
◎ 学習室やロビーの施設・設備や食堂のテーブル配置、各危険箇所・立入禁止箇所を知る。

#### リフター室

- ※ 車椅子で乗下船するときに使う機械(リフター)がある。

#### 学習室

- ※ 「うみのこ」の中で、一番広い部屋。開・閉校式や「湖の子」のタペ、学習や創作活動などで使用する。
- ※ 窓には水の浸入を防ぐ工夫をしている。勝手に開けないことを確認する。



#### 食堂

- ※ 一度に112人までが食事をとることができる。
- ※ 椅子は船がゆれても危険のないよう固定式である。
- ※ 車いすのまま食事をとれるテーブルがある。
- ※ 火災予防のためガスは使わず、電熱器で調理している。

#### カラープロッター

- ※ 人工衛星の電波を受けて船の位置を知る装置で、通ってきた航路等がわかる。

フローティングスクール

# 主な活動の流れ

## 《3階の見学》

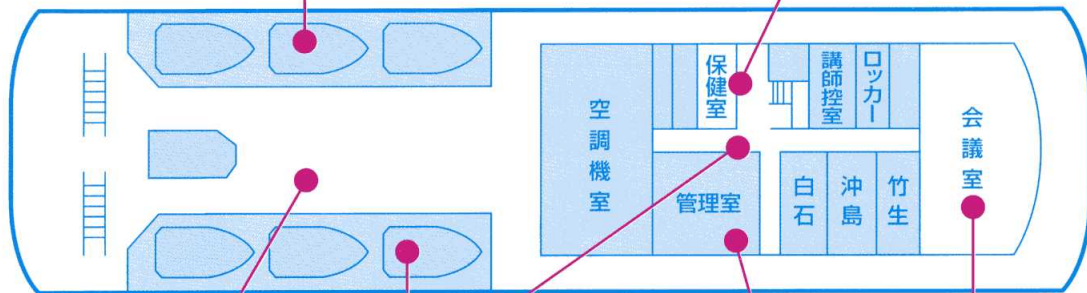
- 甲板での注意を確かめ、カッター艇や救命いかだのはたらきを知る。
- 保健室、教職員室、管理室の位置を知る。

### カッター艇

- ※6月から10月に実施可能なカッター活動で使用する。
- ※児童最大10人と指導者2人が乗ることができる。

### 保健室

- ※気分が悪くなったら休めるようにベッドを置いている。



### 甲板

- ※「児童だけで出ない。走らない。ふざけない。柵に足をかけない・入れない、身を乗り出さない。」の約束を具体的に確認する。
- ※4階にある救命いかだの説明をする。

### どら（銅鑼）

- ※港を出る時の合図に使う。

### 会議室

- ※先生たちが打合せをする部屋。学校の職員室にあたる。

### 高速艇

- ※緊急搬送用のモーターボート。
- ※カッター活動時には監視用として使用。

### 管理室

- ※所員の部屋。顕微鏡や双眼鏡、放送設備等設置。

フロアリングスクール

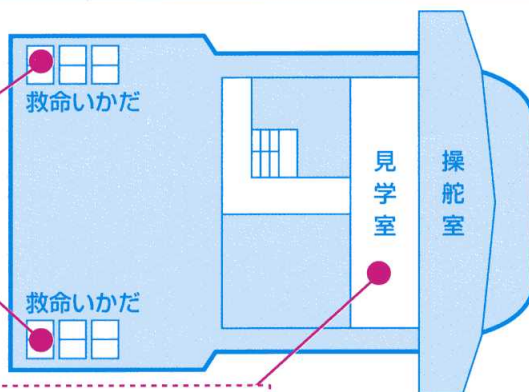
## 《4階の見学》

（船内見学の時間帯以外は立ち入り禁止）

- 見学室の展示物や操舵室の見学を通して、船についての知識や「うみのこ」の特徴を知る。

### 救命いかだ

- ※50人乗り屋根付ゴムボートを収納したカプセルを左右合計12個設置。
- ※3階甲板から見上げて見学させる。



### 見学室

- ※「うみのこ」を操船する様子を間近に見ることができる。
- ※レーダーなど様々な機器の様子を見ることができる。
- ※見学室内にはスクリューやロープワーク、旗信号などの展示物がある。
- ※安全な操船のためにも静かに見学させる。

## 《指導上の留意点》

- ※各階の特徴を説明しながら班別に順序よく見学させる。
- ※施設・設備だけでなく、「うみのこ」で働く人たちの仕事の様子にもふれる。
- ※危険箇所や危険行為、立入禁止場所について具体的に指導する。
- ※不必要に非常ベルや熱感知器、エレベーターのスイッチなどに触れないように指導する。